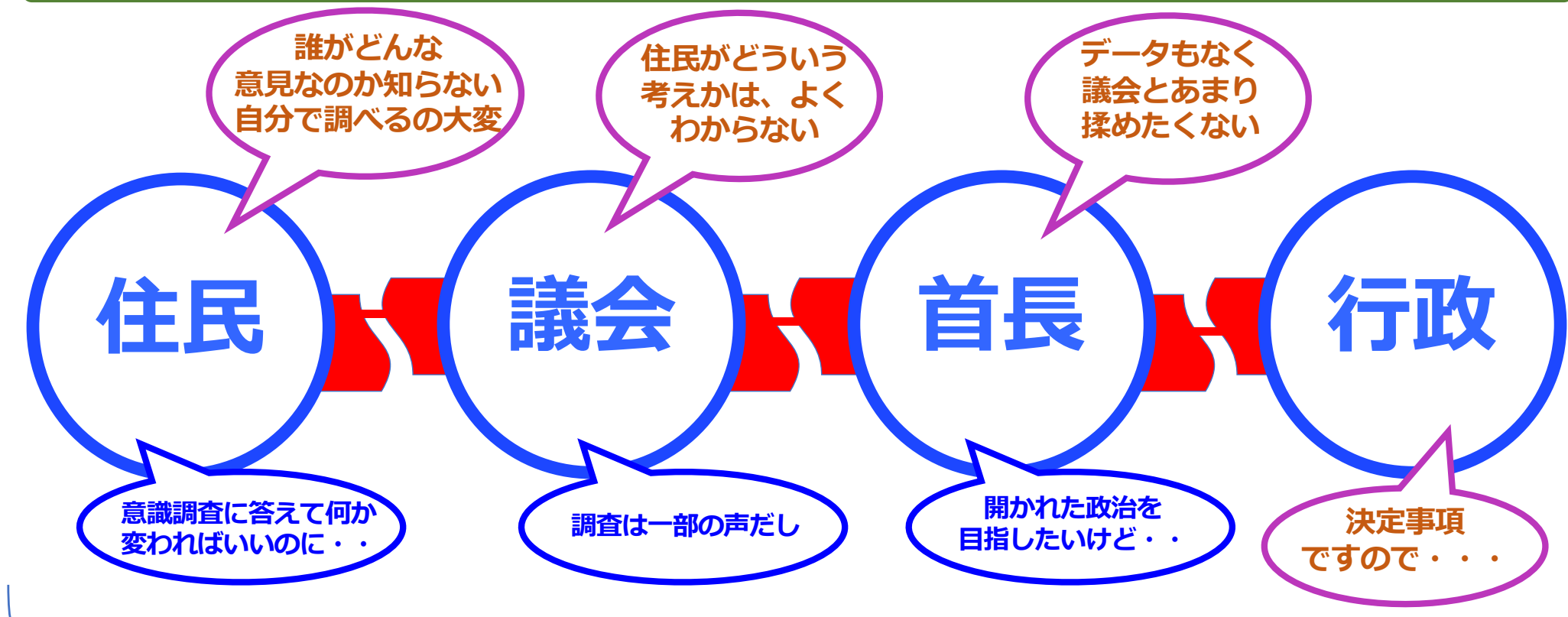


住民-議員-首長-行政の合理的断絶

無関心とコミュニケーション機能不全で、地域は行き詰まります。

都市、地方の両方で、地域のコミュニケーション環境は機能不全に陥っています。この状態でDX化、スマートシティなどの取り組みを行うと、住民の無理解、無関心から住民不在の地域経営に陥るリスクが懸念されます。そこで、「ポリネコ！」の活用を提案します。

「合理的選択によるコミュニケーションの断絶」

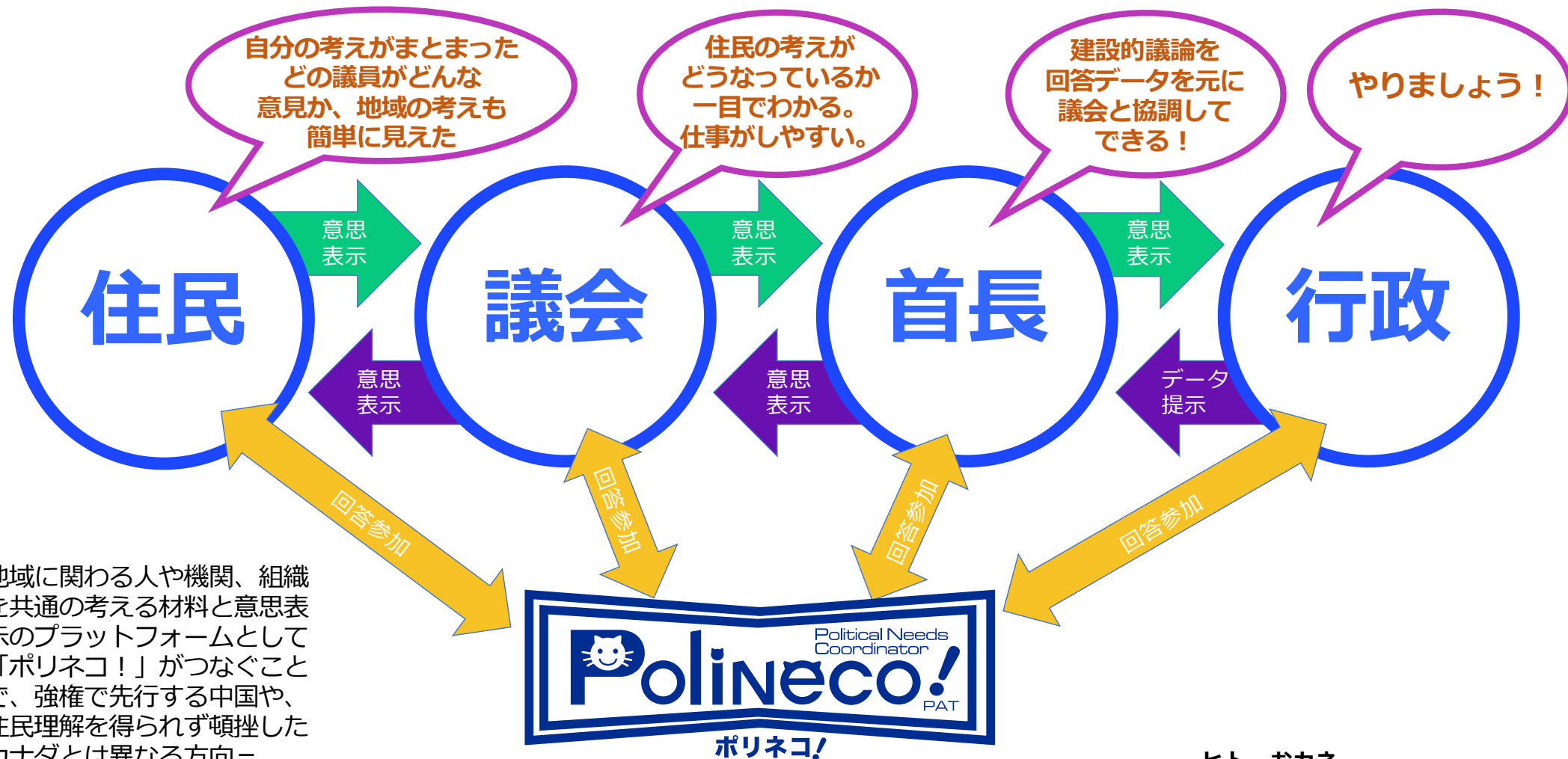


ヒト・おカネ 資本の浪費・地域の衰退

それぞれの立場の人々は合理的に「無難な選択」を行い
全体として地域の衰退を招く選択を行いがちです。

「ポリネコ！」による断絶の解消＝接続

地域に関わる人を繋ぐバイパス



地域に関わる人や機関、組織を共通の考える材料と意思表示のプラットフォームとして「ポリネコ！」がつなぐことで、強権で先行する中国や、住民理解を得られず頓挫したカナダとは異なる方向＝住民の理解と納得を基点とする日本ならではの地域経営を実現できます。

住民基点の地域経営＝

ヒト・おカネ
資本の活用
地域の発展